

第6回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会
2015年6月13日(土)～14日(日)
@つくば国際会議場(茨城県つくば市)

プレコンgresワークショップ 11	
タイトル	診療ガイドラインを批判的吟味する～使える診療ガイドラインとは？
日時	6月12日(金) 17:40-20:00
企画責任者	南郷 栄秀 (公募企画)
定員	48名
開催の目的・概要	
<p>【開催の目的】</p> <p>診療ガイドラインは診療上の行動指針を示したものであり、今や診療に欠かせない情報源です。しかし、日本の診療ガイドラインは数が多いにもかかわらず、その質は全体的に必ずしも高いとはいえません。また、私たちの診療の対象となる患者は一人ひとりの事情が異なるため、専門医がその立場で作成した診療ガイドラインの推奨文を鵜呑みにして、そのまま推奨文通りの診療を行うのには注意が必要です。</p> <p>本セッションでは、診療ガイドラインも批判的吟味の対象にすべきであることをまず理解し、推奨内容の脆弱さと正しい読み方を学ぶことによって、個々の患者の診療にガイドラインをどのように活かせばよいかを考えます。</p> <p>将来的に、診療ガイドライン作成の際に、プライマリ・ケア医の代表として診療ガイドラインパネル会議に参加したり、外部評価を行ったりすることができる人材の育成を目指します。</p>	
<p>【概要】</p> <p>本ワークショップでは、診療ガイドラインの国際標準作成手順である GRADE system を理解した上で、AGREE II と呼ばれる評価ツールを用いて診療ガイドラインの記述が適切かどうかの評価を行います。さらに、日常診療の現場で診療ガイドラインを EBM ツールの 1 つとしてどのように活用すればよいかを考えるグループディスカッションを行います。各グループには経験豊富で親切なチューターが付き、ディスカッションをサポートします。</p>	